

社会福祉法人 春秋会 令和8年度 事業計画書

社会福祉法人 春秋会 事業計画（案）

令和8年度 基本方針 「人を大切にして、共にいい人生を送ろう」

春秋会に関わるすべての人（職員・お客様・お取引先・地域の人たち）を大切にしましょう。

人から大切にされていると思われるには、「思いやり」をもって人に接していくことです。

自分（の法人）さえよければよいという「自我」を排除しましょう。

自分（の法人）の利益にならないことでも他人のためになることをしましょう。

「春秋会で働いてよかったね、春秋会があってよかったね、春秋会と仕事ができよかったね」

と言われるようになりましょう。

周囲の人を大切にしていけば、おのずと私たち（の法人）は支持されるはずです。

社会福祉法人 春秋会 事業計画（案）

人材確保については、この１～２年、新卒・中途採用ともに困難な状況が続いています。

そこで、令和８年度は、外国人介護人材を採用いたします。登録支援機関を通じて、１０名採用予定です。（曾根４名、ケアハウス２名、大里の郷４名）

初めて外国人介護人材を受け入れるため、研修システムの構築、介護のマニュアル作り、また同時に、受け入れ側の日本人スタッフへの研修や教育も行っていきます。

初めての異国での生活に慣れ、職場に早くなじめるように体制を整えていきます。

職員の高齢化、体力面を考慮し、長く勤務していただくため、見守りシステムや福祉用具、通信技術の活用による業務の効率化に積極的に取り組んでまいります。

令和8年度 法人目標 ～人を大切にして、共にいい人生を送ろう～

1. 法人重点取り組み課題および行動計画

項 目	内 容
(1)働きやすい職場づくり	① 周囲の人へ思いやりのある言動を心がけていく。 職員同士お互いを思いやる職場風土を醸成し、退職者を減らせるように努める。
(2)人材確保、人材育成	① 外国人（インドネシア人）介護人材の採用 ② 介護職員処遇改善加算等を活用し、職員の待遇改善に努める。 ③ 耕心塾・素心学塾などを活用し、職員の育成を図る。 ④ 経験年数・役職に応じた研修の実施 昨年度より研修時間を増やし、より深い学びの場をつくる。 新人研修、リーダー研修、幹部研修（別紙 階層別施設内研修予定表 参照）
(3)生産性の向上	① ICT・介護ロボット・福祉用具等の活用 ② 設備の改修・買い替えを実施し、安全・安心な生活環境の整備と働きやすい職場に整える。
(4)安定経営	① 事業所ごとに毎月の数値目標を定め、達成を目指す。 （別紙 令和8年度 各事業所 数値目標） ② 人件費率70%を目安に経営に取り組む。

2. 理事会・評議員会の開催
定款に基づいて理事会・評議員会を開催
3. 監事による監査
法人・施設の事業経営および経理状況の
監査の実施
4. 拠点長会議の開催
運営状況の報告、課題の解決および透明
性のある経営を実現するため、毎月1回
実施
出席者：理事長、施設長、管理職、法人
本部責任者、管理部門責任者
5. 経営する事業（17事業）
右表のとおり

事業所名	事業内容	定 員
特別養護老人ホーム好日苑	介護老人福祉施設	70名
好日苑ショートステイ	短期入所生活介護	16名
好日苑デイサービスセンター	通所介護	40名
ケアプランセンター好日苑	居宅介護支援	
好日苑ヘルパーステーション	訪問介護	
グループホーム好日苑徳力の郷	認知症対応型共同生活介護	18名
小規模多機能ホーム好日苑徳力の郷	小規模多機能型居宅介護	登録定員29名
好日苑徳力の郷ケアプランセンター	居宅介護支援	
ケアハウス好日苑	軽費老人ホーム（ケアハウス）	50名
ケアハウス好日苑デイサービスセンター	通所介護	50名
ケアハウス好日苑デイサービスセンター	認知症対応型通所介護	10名
ケアハウス好日苑ケアプランセンター	居宅介護支援	
ケアハウス好日苑ヘルパーステーション	訪問介護	
特別養護老人ホーム好日苑大里の郷	地域密着型、介護老人福祉施設	29名
好日苑大里の郷ショートステイ	短期入所生活介護	10名
グループホーム好日苑大里の郷	認知症対応型共同生活介護	18名
小規模多機能ホーム好日苑大里の郷	小規模多機能型居宅介護	登録定員29名

曽根 好日苑 事業計画（案） 法人重点取り組み課題達成のための行動計画

	特別養護老人ホーム	ショートステイ	デイサービスセンター	ヘルパーステーション	ケアプランセンター
人材育成 人材確保	- 外国人介護職員の採用 - リーダー的立場の職員の育成 - ノーリフティングケアへの取り組み	外国人介護職員の採用	外部研修への積極的な参加と、他事業所との交流による職員育成を図る	昨年度は職員紹介で1名ヘルパー採用できたが、家庭事情で退職となったので、今年度2名の確保を目標としたい。	- ケアマネジャー4名体制 - 新規利用者の確保（女性ケアマネ配属）
生産性の向上	AI音声入力ソフトの導入（資料添付）	AI音声入力ソフトの導入（資料添付）	データ連携システムの導入	データ連携システムの導入	データ連携システムの導入
目標数値 (1ヶ月あたり)	延入所人数：2,075人 利用料：26,000,000円	延利用人数：405人 利用料：4,500,000円	延利用人数：680人 利用料：6,250,000円	延利用時間数：270時間 利用料：950,000円	利用者数：140人 利用料：1,706,000円

- ・主な環境整備 施設中庭ベランダ補修、厨房作業台キャスター修理、特養ロールスクリーンの交換、非常時の放送設備給湯器の購入（厨房1台、特養3台）など。
車椅子4台、スライディングボード、歩行器、ホットパック、ポータブルトイレなど。

ハナスト

ハナストとは、「話す」だけで介護記録の入力が可能となるAI音声入力ソフトです。
これまでリアルタイムの入力が難しかった排泄や入浴といったシーンでも介助しながらその場で記録が入力できます。
また、インカム機能にも対応しているため、音声と文字でスタッフ間の連絡・情報共有ができます。

記録の使い方

ヘイウィズ



はい



記録



ピコッ



やまださま、食事、全量



キラーン



連絡の使い方

ヘイウィズ



はい



連絡



ピコッ



手が空いている方いますか？



キラーン



- ユニット1
- ユニット2
- ユニット3
- 夜勤メンバー
- 看護師

※モバイル端末を手に持たず、ポケットや身につけるポーチなどに入れてご利用いただけます。

好日苑 徳力の郷 事業計画（案）法人重点取り組み課題達成のための行動計画

	小規模多機能ホーム	グループホーム	ケアプランセンター
人材育成 人材確保	正社員だけでなくパートの職員募集を行い、働きやすさをアピールする	今いる職員が長く勤められるよう、高齢化による体力低下・病気や怪我による一時的な勤務変動を考慮した柔軟な勤務体制を実施する	研修への参加を行い困難な事例への対応が行えるようになる
生産性の向上	- ケアプランセンターと連携してまちかど介護相談室の運営を行う - 要介護度に応じた適切な介護量を意識し過剰サービスにならないようにする	- 満床時でも定期的に待機者への連絡を行い状態確認を行う - 空床が発生しそうな場合は迅速に次の利用者への連絡を行う	- まちかど介護相談室を設置し、地域の方が気軽に相談できる施設になれるよう - 近隣病院への情報発信を行う
目標数値 (1ヶ月あたり)	登録者数：20人 利用料：5,000,000円	延利用人数：540人 利用料：7,140,000円	利用者数：70人 利用料：886,000円

- ・ 主な環境整備 オーニングテント修理（1階ベランダ）、防犯カメラ増設、電子レンジの購入
- ・ 近隣住民や市民センターへアピールを続け知名度を上げる

ケアハウス好日苑 事業計画（案）法人重点取り組み課題達成のための行動計画

	ケアハウス	デイサービスセンター	ヘルパーステーション	ケアプランセンター
人材育成 人材確保	- 外国人人材雇用、安定的定着を図る - 働きやすい環境整備を行う	- 業務能力向上によるチームワーク強化（気づき合い、認め合う思いやる心と笑顔） - 個人目標を活かす	- 働きやすい環境を整備する - 登録ヘルパーの平均年齢が70歳 - 法人内で人員確保努力する	- サービスが総合的、効率的に提供できるように図る - 対人援助力の向上
生産性の向上	- ICTの導入活用し安全性を図る - 入院者を減らし稼働率を上げる	- 安定した稼働率の確保 - デイサービスの紹介を継続的に行いHPの活用を最大限生かす - データ連携システムの導入	- 業務の効率化・改善・改革に繋げ質の確保を図る。 - 寄り添った声掛けを行い退職者を減らし雇用に繋げる - データ連携システムの導入	- 携帯をスマートフォンに切り替え替え記録等事務作業の効率化を図る。 - データ連携システムの導入
目標数値 (1ヶ月あたり)	延入所人数：1,460人 利用料：14,380,000円	延利用人数：1,190人 利用料：10,760,000円	延利用時間数：370時間 利用料：1,350,000円	利用者数：205人 利用料：2,980,000円

・主な環境整備 大型洗濯機の購入

好日苑 大里の郷 事業計画（案）法人重点取り組み課題達成のための行動計画

	特別養護老人ホーム	ショートステイ	グループホーム	小規模多機能ホーム
人材育成 人材確保	- 外国人介護人材の受入れとOJT体制の整備 - 職員間の連携を深め、安心して働き続けられる職場づくりを進める	業務の標準化を進め、職員の対応力向上を図る	認知症ケアを通じた現場教育を強化し、職員の専門性向上を図る	通い・訪問・泊まりの機能を理解した多機能型サービスに対応できる人材育成を進める
生産性の向上	ICT、福祉用具等の活用により、業務の効率化と職員の負担軽減を図る	入退所業務の整理と見直しを行い、業務の効率化を図る	生活支援の内容を見直し、利用者主体のケアの充実を図る	利用状況に応じた柔軟な運営を行い、効率的な事業運営を進める
目標数値 (1ヶ月あたり)	延入所人数：852人 利用料：13,363,000円	延利用人数：280人 利用料：4,050,000円	延利用人数：540人 利用料：7,350,000円	登録者数：24人 利用料：6,000,000円

・主な環境整備 共有部の空調設備、給湯設備更新の実施計画